

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 2 月 27 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	岡山県周辺のスギ・ヒノキ材の樹皮を熱源とする木材乾燥用バイオマスボイラー導入事業
プロジェクト番号	KC0043
排出削減事業者名	牧野木材工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	J-クレジット制度事務局（みずほ情報総研株式会社）
事業実施場所	牧野木材工業株式会社 本社工場 （岡山県真庭市草加部 288-8）
事業の概要	木材乾燥用 A 重油焚きボイラーを木質バイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量や CO2 排出量を削減するとともに、県内周辺のスギ間伐材等の有効活用を推進する。
排出削減量の計画	2008~2012 年度 286tCO2/年 2013~2015 年度 293tCO2/年 （事業実施期間合計 2,309t-CO2）
クレジット 認証期間	開始日 2008 年 4 月 1 日 終了日 2016 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日（第 4 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	837tCO ₂ (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 第4回目実績確認のため、N/A 2) 対象期間中の設備稼働確認 実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるバイオマスボイラー給水量等実績の確認により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認事業計画に従って、排出削減事業開始後の給水量、ブロー量、蒸気圧力、給水温度について、ボイラー日報及び月報に記載され、担当者はこれを保管していることを確認した。 また、事業実施後補機の電力使用量はボイラ稼働日数記録の確認により、記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている単位発熱量と排出係数が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.6 によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、リーケージ排出量について方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2016年3月31日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー量について、熱量換算 9554.2GJ であることを確認した。